総務常任委員会

ご意見など
各支所長に決裁権を持たせてはどうか
筑津地区の開発に民意をしっかりと盛り込んでほしい。
常用漢字への廿日市市の「廿」と杓子の「杓」等の変更を要望する。 廿日市市もひらがな表記が多く見られ、宮島口にある「しゃもじ広場」は本来なら杓子広場だ。管理者の県に聞くと、名前を募集して決まったとのこと。 前回2010年改定で次回は2040年になる。とにかく、常用漢字への変更ができるように、出現頻度を増やすようお願いしたい。
市の予算額と契約額の乖離、随意契約や指名競争入札の不透明さがある。 新エネルギー関連会社の設立（副市長が社長との指摘）、観光協会と商工会議所の法人統合、職員や家族の関与などに関する複数の疑義がある。
（防犯灯） 防犯灯の補助は、全て市の負担にできないか。町内会の人数が減っていており、一人あたりの負担がきつい場所もある。広島市は市の負担と聞いている。広島市から来た人が廿日市市は非常に暗いと言っていた。補助の割合を上げられないか。
人口が微増なのに、間接費がドーンと上がっている。職員の机の上は書類が山積みである。無駄を減らすことを考えるべきであり、業務の標準化・平準化することを考えてもらいたい。
NPO法人や関係団体が増えた、出向している市職員は給料の二重取りになっているのではないか。
転入超過を今後も続けて欲しい。
若者が流出している原因調査と対策をして欲しい。
宮島訪問税の使途が示されているが、税収が増えてその分よくなったという効果がわかりにくい。
開発費（建築）→今後の上振れはないのか気になった。（赤字で下請け企業が倒産など懸念はないのか）
廿日市市の将来ビジョンを持ちながら、足元を正してほしい。
中山間地域の振興を考えると吉和に人が住めるようにするのか、佐伯町に集めてやるのか、どっかに人を集めて地域振興をするという考えはないのか。
市役所7階の凸版印刷が借りている部屋の小部屋を他の企業に貸して凸版印刷は儲かっている。日本管財の施設は佐方に会社があると云われているが看板もないのに廿日市市の仕事を取っている。
市役所員の業務の効率化(間接費の低減)も含めて各業務の『標準化』をした後に『平準化』をして職員を移動して下さい。標準化が出来ないで単純に工数を移動しとも意味が有りませんので『業務の標準化』から初めて下さい。